



京都市美術館所蔵品展
「花鳥風月」 Beauties of Nature

と き／1月2日(水)～1月20日(日) 9:30AM～8:00PM
 ところ／美術館「えき」KYOTO (会期中無休)
 JR京都駅ビル (JR京都伊勢丹7F隣接) ☎075-352-1111



小野竹喬「沼」1970 (昭和45)年

京都市美術館は1933(昭和8)年に設立され、建築当初の面影を残す日本国内有数の歴史ある大規模公立美術館の一つです。収蔵する絵画や工芸品の数々はまさに文化都市京都にふさわしいコレクションを形成し、京都における文化施設の中核的存在として京都市民から愛されています。

本展覧会では2019年度中のリニューアルオープンに向け、現在本館が改装中である京都市美術館の所蔵品の中から選りすぐりの名品をご紹介します。

昨年1月に開催して第1回展では「きもの美人」をテーマに美しく艶やかな作品をご紹介しましたが、第2回目となる本展では、新春にふさわしく晴れやかな「花鳥風月」をテーマに堂本印象〈松風和鳴〉(六曲屏風)や山鹿精華〈手織錦大和之香図〉など日本画、洋画、工芸作品36点を展示します。近現代の著名作家により表現された「花鳥風月」をお楽しみください。



北脇 昇
 「眠られぬ夜のために」
 1937(昭和7)年



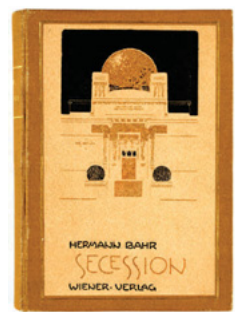
坪井明日香
 「唐織布袋〈月輪〉」
 1982(昭和57)年



竹内栖鳳
 「秋雨一過」
 1935(昭和10)年

世紀末ウィーンのグラフィック
 ーデザインそして生活の刷新にむけてー

と き／1月12日(土)～2月24日(日) 9:30AM～5:00PM
 ところ／京都国立近代美術館 (祝日以外の月曜と1/14休館)
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111



ヘルマン・バール(著)
 『分離派』1900年
 (表紙デザイン・挿画)

当館は、2015年に世紀末ウィーンのグラフィック作品コレクションを収蔵しました。このコレクションは、アパレル会社の創業者、平明陽氏が蒐集したものです。1897年の分離派結成から1914年の第一次世界大戦勃発までのウィーンでは、グスタフ・クリムトやヨーゼフ・ホフマンらを中心に、新しい時代にふさわしい芸術そしてデザインのあり方が模索され、数多くの素晴らしい成果が生まれました。中でもグラフィックの分野は、印刷技術の発達や雑誌メディアの隆盛を背景に、新しい芸術の動向を人々に伝え、社会に浸透させる重要な役割を担いました。本展では、300件にのぼる膨大なコレクションの全貌を紹介するとともに、同じく平明氏旧蔵のリヒャルト・ルクシュによる石膏彫像と貴重なアドルフ・ロースの家具一式をも加え、世紀末ウィーンの息吹と魅力をお伝えします。



ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ キャバレー〈フレーダーマウス〉
 上演本第1号 1907年 表紙・装丁:カール・オットー・チェシュカ

会場	日曜	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31																																			
		㊦	水	木	金	土	㊦	月	火	水	木	金	土	㊦	㊦	火	水	木	金	土	㊦	月	火	水	木	金	土	㊦	月	火	水	木					
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	祇園祭 - 八幡山の名宝 -															祇園祭 - 郭巨山の名宝 -																→3/31				
	3F	年始休館																															→3/3				
	4F	今後の特別展 / 北野天満宮 信仰と名宝 - 天神さんの源流 - (2月23日～4月14日)															Kyoto Art for Tomorrow 2019 - 京都府新鋭選抜展 -																→2/3				
	5F	新春書藝展															第31回京都美術文化賞 受賞記念展 (受賞者) 小名木陽一 (織作家)、 重松あゆみ (陶芸家)、 鈴鹿芳康 (写真造形作家)																				
6F																知み書道 新春書道展					第15回 匠・双美 会					2018年度 京都橋大学 卒業制作展											
別館	音楽会															講演会					Kyoto Art for Tomorrow 2019 - 京都府新鋭選抜展 -																
京都学・歴史館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831	年始休館	村田陶苑展 休館日: 祝日、第2水曜日																															→3/10				

会場	日曜	日曜																															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	年始休館	常設展のみ										世紀末ウィーンのグラフィック ～デザインそして生活の刷新にむけて～ (月曜休館：祝日の場合は翌火曜日休館)										日中平和友好条約締結 40周年記念 特別企画 中国近代絵画の巨匠 齊白石										→2/24	
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151	年始休館	新春特集展示「まづくしー干支を愛でる」																											特集展示「京の冬景色」			→3/17	
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151	年始休館	特集展示「美麗を極める中国陶磁」																											特集展示 初公開！天皇の即位図	→3/10			
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館 別館	再整備工事のため、本館閉館中 (別館のみ開館。)																															→2/3
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	別館	休館	改組新 第5回日展京都展 (日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書) (月曜休館)										平成30年度 卒業制作展 [学校法人京都黎明学院・ 京都芸術高等学校]					成安造形大学 卒業制作展2019					第51回 窠鴻会展					→2/3					
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F 2F 3F	年始休館		第73回行動美術京都作家展 (美術総合)					日本画ん展 (日本画)					笹々会展 (日本画)					第22回国画家 京滋奈作家展 (美術総合)					→2/3									
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	2F	年始休館		第73回行動美術京都作家展 (美術総合)					紫野侘茶陶芸研究所展 (工芸)					FEB展 第43回 (洋画)					第22回国画家 京滋奈作家展 (美術総合)					→2/3									
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	年始休館	企画展 漆軒と印象 明治生まれの堂本兄弟・うるしと日本画の競演																															→3/17
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311		ドアノアの愛した街パリ ROBERT DOISNEAU展																															
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊 グランド ホール	高島屋美術部創設10年記念 高賀会 (日本画・工芸・書)					作陶三十五周年 岡田 優 作陶展 高取焼 二代 鬼丸碧山 茶陶展					福井江太郎 日本画展 - 薔薇に挑む - 川尻 潤 作陶展 - 遊び心をそえて -					山崎隆夫展 - 四季の詩 - (日本画)					薩摩焼 十五代 沈 壽官 展					→2/5						
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊 アート サロン ミュージアム	ユーモラスでちょっと風変わりな 金丸悠児絵画展					日吉薫元作陶展					ロジェ・ボナフェ 油彩画展					～歩月風～ 菅原百佳日本画展					藤田嗣治 作品展					→2/4						
大丸 中京区四条高倉 211-8111	アート サロン	新春秀作美術展					新春秀作美術展					螺鈿・小島雄四郎 紗和子 親子展					7 Colors - 七彩 -					梅村愛 日本画展					→2/4						
大丸 中京区四条高倉 211-8111	ミュージアム	写真展・英国ロイヤルスタイル ～麗しきプリンセス～										現代京都書作家展																					
中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323		第31回京都美術文化賞受賞記念展 (会場：京都文化博物館) 1/21(月)休館																															
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277		休館																															→4/4
美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111		京都市美術館収蔵作品展 (会期中無休) 「花鳥風月」 Beauties of Nature																															
アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入 221-5397	1F 2F	篠原ユキオ 招き猫展 HITOKOMART (平面)					福井安紀 土と石で描く板絵展					KMN展 (平面)					→2/4																
Art Spece MEISEI 中京区寺町竹屋町上ル 744-0122		冬期休廊										常設展										足立昌之日本画展 (月曜休廊)											
アートスペース柚 (ゆう) 東山区二条通東山西入 090-6916-5353		芸春 エト・アール展 2019 ウリウリ展 (水曜休廊) 京都にゆかりのある作家の干支をテーマにした作品展																															
アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401	年始休廊	木になるアート作品展 5日：陶芸教室										キューブアート作品展@神宮道																					
アートギャラリー鵬休堂 東山区東山五条上ル西入ル 541-3805		貸ギャラリー受付中																															
綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787		冬期休廊										貸ギャラリー受付中																					
芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	年始休廊	木版画常設展 (貸画廊受付中)																															
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137		常設展示 (浮世絵、新版画など)																															
延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552		常設展										西山雪展										→2/6											
御池画廊 北区小山上北上総町20-2 492-3083	冬期休廊	洋画/日本画常設展 青木敏郎・伊谷賢蔵・池田遙郎・熊谷守一																															
カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996		日本画・洋画常設展																															
画廊えんじゅ 東山区三条通古川町東入ル 050-3557-1723		貸画廊受付中																															

Ⓔ：企画および常設を中心に活動する画廊 Ⓕ：貸画廊

第27回「折々の作家たち」展

と き / 1月12日(土)～1月27日(日) 12:00～7:00PM
と ころ / ギャラリーヒルゲート (1/21(月)休廊)
京都市中京区寺町通三条上ル ☎075-231-3702

出品作家

秋口 悠子、安野 光雅、池田 良則、生駒 泰充、石母田ななみ、泉地 靖雄
 伊勢 信子、一居 孝明、一居 弘美、市川 曜子、井上 隆雄、井上 廣子
 伊庭新太郎、今尾 栄仁、岩井 晴香、烏頭尾 精、海野 厚敬、榮永大治良
 大森 啓、奥田 輝芳、貝原 浩、加藤登紀子、門坂 流、上岡 真志
 川上 力三、岸 雪絵、木代 喜司、来野あぢさ、北村 美佳、木下 晋
 木村 克朗、木村 隆、木村 正恒、日下部直起、日下部淑子、黒川 彰夫
 黒崎 彰、黒田 暢、黒田富紀子、小西 熙、小林 一彦、小山久美子
 近藤 慧子、齋藤 修、齋藤 博、坂爪 厚生、佐久間嘉明、桜井 貞夫
 佐野 賢、渋谷 和子、集治 千晶、須田 剋太、角 りわ子、田島 周吾
 田島 征三、田島 征彦、田中 忠雄、田中 直子、谷 なつ子、谷口 淳一
 司 修、鶴田 憲次、富樫 実、中井 史郎、中原 史雄、二階 武宏
 西久松友花、西久松 綾、西山 喬、野上 徹、野見山暁治、橋本 幸志
 長谷川宏美、長谷川ゆか、八田 哲、林 康夫、平岡 靖弘、蛭田 均
 廣田 政生、福島菊次郎、富士谷 隆、藤野さち子、藤平 伸、古野恵美子
 堀 泰明、本田 希枝、馬越 陽子、増田 常德、松生 歩、松谷 武判
 馬淵 哲、丸木 位里、丸木 スマ、丸木 俊、丸山 勉、三浦以佐子
 水上 勉、三橋 卓、宮村 長、向坂 典子、村上 泰造、村山 明
 森本 勇、山河 全、山崎 脩、山本 桂石、山本 俊夫、若林 亮
 渡邊 章雄、渡辺 恂三



安野光雅「ミュンヘン市庁前」



第27回 折々の作家たち展

中村 七海 展

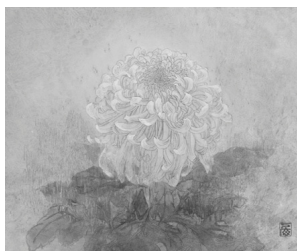
と き / 1月8日(火)～1月16日(水) 12:00～7:00PM
と ころ / ギャラリー恵風 (1F・2F) (月曜休廊)

京都市立芸術大学博士課程修了。触覚と表現の関係について中国絵画の皴法という思想を参考に研究し、独自の表現を追求している。絵を描く身体感覚を表現として画面に定着させるため、紙自体を鉄筆で強く押し、描く行為に負荷をかけた線の描法を用いる。触覚と視覚を融合させながら紙の中へ、対象の中へ手探りする表現は、見え方も角度や距離によって異なり、見る者の身体感覚を巻き込んで作品は成立していく。

対象を客観的に分析・観察するのではなく、対象と一体となって楽しむ文化が日本にはある。桜の花見のように意識以前に土地と体に染み付いた文化を、今生きる自身の感覚で紡いでいきたい。(中村)

中村 七海 NAKAMURA Nanami

- 2000年 京都市立芸術大学卒業制作市長賞大学買上
日展入選 ('00 '02 '14 '15 '16 '17)
- 2001年 青垣日本画展 読売新聞社賞
- 2014年 奈良県展 県展賞
- 2015年 京都銀行コレクションの15年展 買上
Artist group-風-大作公募展入選 ('16)
高島屋小品展 東京・京都・大阪巡回 ('16)
- 2017年 京展 ('00 '01 '13 '14 '15) 80周年記念展 栖鳳賞
桜花賞展 郷さくら美術館買上
三菱商事アートゲートプログラム買上
京都市立芸術大学博士課程修了
- 2018年 未来教育研究所研
究助成取得



「菊香」F 8号

高木 智子 TAKAGI Tomoko

と き / 1月19日(火)～1月27日(水) 12:00～7:00PM
京都市左京区丸太町東大路東入ル ☎075-771-1101

平らな面に油絵具で、絵を描いています。「視覚は何をみているのか」を考えながら、モチーフと絵具を往き来し、忘却と確認の中で実感を探ることが描くことになっています。(高木)

1989 千葉県生まれ2015京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻油画修了

個展

- 2017 高木智子 | 無関係をなぞる (COHJU contemporary art, 京都)
 - 2016 高木智子 個展 (ギャラリー恵風、京都) [14]
 - 2015 高木智子展「視覚は何をみているのか」(アルトテックギャラリー、京都)
 - 2013 高木智子 個展 (ギャラリーモーニング、京都)
- ### グループ展
- 2018 境谷小学校作品展 (京都市立境谷小学校、京都) [16 '17]
 - プレゼンス (AYUMI GALLERY、東京)
 - 2017 植木鉢のある風景展 (ギャラリーモーニング、京都) 京都府新鋭選抜展 (京都文化博物館) [16 '15]
 - 2016 不安な干潟-国際交流展 (FreeS Art Space、台北) (WINWIN ART 未藝術、高雄 '17)
ウッホッホウホウホアートショー (波さがしてっから、京都)

受賞歴

- 2012 群馬青年ビエンナーレ2012 / 群馬県立近代美術館 (群馬) (入選)
- 2014 京展2014 / 京都市美術館 (京都) (市長賞・京都市美術館賞)
- 2015 新鋭選抜展 琳派400年記念 / 京都文化博物館 (京都) (読売賞)



「境谷の宇宙」91×91cm

漆軒と印象

明治生まれの堂本兄弟・漆と日本画の競演

と き/12月13日(木)～3月17日(日) 9:30 AM～5:00PM
ところ/京都府立堂本印象美術館 (祝日以外の月曜休館)
京都市北区平野上柳町26 ☎075-463-0007

堂本漆軒(どうもとしゅけん 1889-1964)は、日本画家の堂本印象(1891-1975)の兄で大正末期～昭和時代にかけて活躍した漆芸家です。本展では、漆芸の分野で洗練された美を追求した漆軒と、新しい日本画を創造し画壇を牽引してきた印象のそれぞれの芸術活動を展観するとともに、印象が図案を手がけた共作の漆器も紹介し、兄弟による美の世界を見つめ直そうとするものです。

また、漆軒の代表作に、豪華客船あるぜんちな丸(1939年竣工)の一等食堂のために制作した蒔絵の飾扉があります。第二次世界大戦の戦禍を免れ奇跡的にのこったこの扉は、戦前の客船を伝える貴重な遺品です。この機会にどうぞお楽しみください。



堂本印象「冤獄」1928年

同時開催【京都現代作家展9】

鵜飼雅樹 絵画の手触り—マチエール考—

12月13日(木)～1月27日(日)

「アパルトマン」2012年



鵜飼雅樹略歴

- 1961年 滋賀県出身
- 1987年 金沢美術工芸大学日本画科大学院修了
- 1990年 第3回川端龍子賞展優秀賞
- 1993年 第25回日展特選
- 1993年 第7回青垣2001年 日本画展読売新聞社賞
- 2003年 第38回日春展 日春賞
- 2004年 第39回日春展 奨励賞(外務省買上げ)
- 第36回日展特選
- 2014年 改組新第1回日展 審査員
- 現在 日展会員 東丘社 所属



堂本漆軒「浜木綿パネル」1952年頃

古代がつくられるとき Anthropological Art Project, feat. 多田恵子

と き/1月4日(金)～1月16日(水) 10:00AM～6:00PM

ところ/京都陶磁器会館2Fギャラリー (木曜日休館)

赤沢嘉則 陶展 ～空の思考～

と き/1月18日(金)～1月30日(水) 10:00AM～6:00PM

京都市東山区東大路通五条上ル ☎075-541-1102

Anthropological Art Project (アープ)とは文化人類学の視点でアートを実践するプロジェクトです。

今回は「古代とは想像の産物」とであるというテーマのもと、陶芸作家の多田恵子が作成した陶板や土器が発見され、それを研究者が「～文明」と命名するプロセスをパロディとして展示します。発掘から、比較検証、論文の執筆、社会的評価といった一連の流れを再現し、あるモノがある文明へと置き換えられていく過程を作品として展示します。(アープ代表 鈴木伸二)

Anthropological Art Project 略歴

- 2014年 活動開始
- 2017年 遺され村の美術展に参加
- 現在、フランスの公文書館で発見した史料をもとに写真集を製作中

多田恵子 陶歴

- 1973年 奈良県生まれ
- 1996年 大阪芸術大学工芸学部陶芸専攻卒業
- 青年海外協力隊陶磁器隊員として
- モロッコ王国に赴任
- 現在 タイセイ陶芸教室主宰
- 関西を中心に個展、グループ展で発表



「古代がつくられるとき」

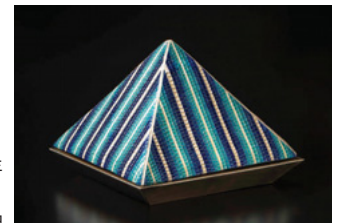
赤沢嘉則さんは、陶芸・日本画・写真と様々なジャンルを超えて、国内外で活動される美術家です。交趾で名高い窯元にお生まれになり、大学で学ばれた日本画や、モザイクの美しさとその素材の交趾との親和性の発見など、様々な要素をもとに制作されてきました。

本展は、海外の国際公募展において展示された作品の里帰り展です。つまり様々な感性や価値観を持った人々に選ばれた作品が一堂に展示されます。伝統的な交趾の技術と海外で受けたインスピレーションにより生まれた作品、そして、それらを通して感じられる作者と他者、時代の流れや国々の関係など、その時空を超えた、彼の「空の思考」の世界をご鑑賞くださいませ。

赤沢嘉則(あかざわ・よしのり) 略歴

- 1971 生まれ 現在 京都市在住
- 1994 京都市立芸術大学 美術学部 卒業
- 2002 京都 堺町画廊にて日本画個展「華の雨」
- 2009-10 安土城跡 総見寺 襖絵15面「老桜」「相生」制作 奉納
- 2016 「Made in Japan メイド・イン・ジャパン」ファエンツァ国際陶芸美術館所蔵 20世紀の日本陶芸展(イタリア)
- 2017 「第39回グアルド・タディーノ国際陶芸展」にて銀賞受賞(イタリア)
- 2018 赤沢嘉則 陶展「JAPAN(ジャパン)」日本橋三越本店(東京)

「Comedia (コメディア)」
2016年
「第36回 アルコラ国際陶芸展」
(スペイン) 出品



第31回 「京都美術文化賞」受賞記念展

と き／1月18日(金)～1月27日(日) 10:00AM～6:00PM
と ころ／京都文化博物館5階展示室 (最終日入場 4:30PM)
京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888

公益財団法人中信美術奨励基金の顕彰事業である「京都美術文化賞」受賞者による展覧会です。「京都美術文化賞」は、美術の創作活動を通じて京都府市民の精神文化向上に多大な貢献をされた方に対して毎年贈呈している賞で、1988年5月の第1回に始まり2018年5月の今回で31回目となります。

本展では、第31回京都美術文化賞を受賞された小名木陽一氏(織)、重松あゆみ氏(陶芸)、鈴鹿芳康氏(写真造形)の3氏による合同展示を京都府市民をはじめ広く皆様にご覧いただきたいと思っております。

また、2017年に公益財団法人中信美術奨励基金が設立30周年を迎えたことを記念して、財団のあゆみを振り返る企画展示も行います。

【受賞者略歴】



小名木 陽一 氏 (織)

1931年東京生まれ。54年同志社大学法学部法律学科卒業、56年京都学芸大学(現京都教育大学)特修美術科絵画専攻卒業。59年～64年龍村美術織物勤務、退職後織物をはじめ。71年丸善画廊でタピストリー作品を発表、以後わらなどの編組技法によって立体織りを制作。



重松 あゆみ 氏 (陶芸)

1958年大阪府生まれ。83年京都市立芸術大学大学院美術研究科陶磁器専攻終了。ユニークな造形と優美な色彩による作品を制作。近年は、縄文土器の造形の仕組みを作品に取り入れてかたちを展開している。



鈴鹿 芳康 氏 (写真造形)

1947年神奈川県生まれ。66年～68年多摩美術大学油絵科で学ぶ。73年より京都市立芸術大学版画研究室講師。75年フルブライト研究員奨学金を得てサンフランシスコ・アート・インスティテュートに留学、アートの根幹となる写真制作と出会う。ピンホールカメラを使用した写真作品、版画、オブジェなど表現形態は多岐に渡り、チェコ、インドネシア、中国など海外でも精力的に活動している。

ドアノーの愛した街パリ ROBERT DOISNEAU 展

と き／11月1日(木)～2019年1月20日(日) 10:00AM～6:00PM
と ころ／何必館・京都現代美術館(月曜休館 但し、1/14は開館)
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

このたび「ドアノーの愛した街パリ ROBERT DOISNEAU 展」を開催いたします。ロベール・ドアノーは、世界で最も人気のある20世紀を代表する写真家です。1912年、パリ郊外のジョンティイで生まれ、18歳頃より本格的に写真の世界に入ります。その後、写真通信社アジャンス・ラフォに所属し、82歳で亡くなるまで活躍しました。

「写真は創るものではなく、探すものだ」と語ったドアノーは、自身も生涯をパリで過ごし、庶民の中に根を張り、喜びと悲しみ、そして優しさと皮肉が交流しあう、彼独自の写真を生み出しました。

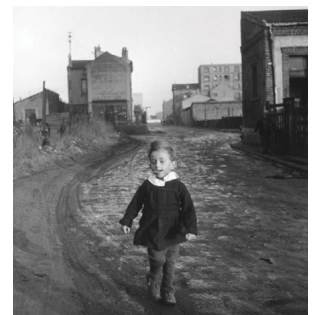
ドアノーの写真には洗練されたエスプリとユーモアを持つ彼の温かい人柄が写し出され、観る者を虜にします。

本展は、何必館コレクションの中から、「子供達」「恋人」「酒場」「街路」「芸術家」の5つのテーマで構成し、サイン入りオリジナルプリント約60点の作品を展覧いたします。

<http://www.kahitsukan.or.jp>

主催 公益財団法人 京都現代美術財団

記念出版『ロベール・ドアノー 写真集』 3,200円



「パピヨンの子供」1945年



「ピカソのパン」1952年

〔今月の展覧会より〕

KYOTO Art for Tomorrow 2019 京都府新鋭選抜展

と き／1月19日(土)～2月3日(日) 10:00AM～6:00PM
と ころ／京都文化博物館3階展示室 (月曜休館)
京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888

本展は、京都を中心に活動する新進の若手作家を紹介し、次世代を担う作家として京都から世界へ発信していくことを目的として開催します。京都の地を拠点とする若きアーティストたちとともに、国際的に活躍する京都ゆかりの作家・藤浩志氏による現代アートを同時に公開し、京都の地でモダンとクラシックの間に生まれる新しい芸術の創造に取り組む若手作家の活動を奨励します。

出品作家：

安藤隆一郎、井上裕加里、今西真也、彌永ゆり子、入澤あづさ、岩井晴香、上田 良、江川 恵、大八木夏生、岸 雪絵、北川安希子、金 サジ、清田泰寛、楠本孝美、葛本康彰、國政サトシ、久保木要、黒川 岳、後藤吉晃、西條 茜、阪本 結、笹岡由梨子、城 愛音、大東真也、高崎洋祐、柞磨祥子、弦川 悠、中平美紗子、中村 潤、丹羽優太、橋本知成、林 葵衣、蛭田美保子、福田真知、三橋 卓、迎英里子、村田 彩、むらたちひろ、森岡真央、八木佑介、矢野洋輔、山羽春季、吉田 潤、吉田桃子、若林 亮

選考・審査委員：

太田垣實 (美術評論家)、
菅谷富夫 (大阪新美術館建設準備室 研究主幹)、
建畠 哲 (多摩美術大学長、京都芸術センター館長)、
中井康之 (国立国際美術館 副館長・学芸課長)、
不動美里 (姫路市立美術館 副館長)

特別出品：藤 浩志「ジュラ紀から受け継ぐ」

時 間 10:00AM～7:30PM

会 場 別館ホール



上田泰江展

と き／1月12日(土)～26日(土) 10:30AM～6:30PM
と ころ／蔵丘洞画廊 (会期中無休)
京都市中京区御池通寺町東入ル 本能寺文化会館1F ☎075-255-2232

綾部の山裾に建つアトリエ

暗く厳しい冬、時折おとずれる穏やかな冬晴れ。独り暮らしで、誰に干渉されること無い生活の上田は、静かな時間をそのままに受け止め、ただ絵に向かうだけ。

寒波の泣き声、ひっそりと降り積もる気配のなか一人の自分と向き合う。

展覧会は楽しみだが、そのためにということでもない。芸術というものは毎日を積み重ねたものから、一つの成果が得られる保証もなく、或る時そっと画面に神様のようなものが宿ることを願うしかないのだから。

どうも日本では、絵画を理解しようとする癖がある人が多いように思う。かく言う私も絵を見るたびに何を描こうとしたのだろうと思ってしまうのだから他人の事を言えたものではない。この観る側のある種の悩みは、それが何であるか判別できると、たちどころに気が晴れる程度のものである。

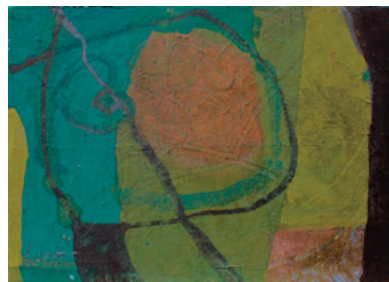
しかし彼女の悩みは、簡単に人に見抜かれるような柔なものは、上から塗り潰して芸術になるか否かを自問する作業らしく、厄介のレベルが違うのである。

89歳、上田の淡々とした生き方に、芸術の神様が舞い降りた作品は時として暗く、時として難解。

蔵丘洞・岡 真純



「水辺の人」56×77cm



「楽しい秋」SM

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																					
会場		日曜		(火)	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木																					
企	画廊 きよみず	日本画常設展																																																					
企	画廊 後素堂	貸画廊受付中																																																					
企	画廊 たづ	冬期休廊 (予定)			日本画常設展 (日祝休廊)																																																		
貸	ざおんギャラリー八坂	洋服とアクセサリー (廣瀬光美)												MPG写真展 2019「バイクのある風景」 (代表 田中伸明)																																									
貸	ギャラリー 梧桐	貸ギャラリー受付中																																																					
貸	ギャラリー M	正月休廊			新春の京と初旅展 松本祐佳																																																		
貸	ギャラリーカト	12月末にて閉廊しました																																																					
貸	ギャラリーかもがわ	年始休廊																																																					
貸	ギャラリー 祇園小舎	福井泰三 陶・画展												丹頂「北の鼓動」展 世取山栄子						谷本聡子 いろいろな顔/展						京都女子 大学写真部 息吹展																													
貸	ギャラリー 吉象堂																																																						
貸	ギャラリー Create洛	冬期休廊			城康夫展 (洋画)									常設展									加藤健二展 (洋画)						創造する 画家たち展 (平面)																										
企	Gallery G-77	常設展																																																					
貸	ギャラリー K																																																						
貸	ギャラリー 恵風	冬期休廊			中村七海展 (日本画) (14日休廊)												休廊			高木智子展 (平面) (21日休廊)									休廊			古城沙樹展 (平面)																							
																																前田愛実展 (版画)																							
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																					
会場		日曜		(火)	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木																					
貸	ギャラリー 佐野	冬期休廊																																																					
企	ギャラリー 三条祇園																																																						
企	ざらりい 思文閣																																																						
企	ギャラリー 白川	冬期休廊																																																					
貸	ギャラリー 翔	年始休廊															アートふくろう展 (絵画・陶器・染色・ガラス他)						上田調 作品展 (絵画)						幻想絵画展 (絵画グループ展)																										
貸	ギャラリー 16	冬期休廊			庄司達展 赤い布による空間-2019 (布によるインスタレーション)																																																		
企	ギャラリー 創	日本画・洋画・古書画常設展																																																					
貸	ギャラリー 象鯨	貸画廊受付中																																																					
貸	ギャラリー TAJIRO	← 手ぶら絵画教室 アトリエゴット			手ぶら絵画 教室アトリエ BoKu.(夜)			← 手ぶら絵画 教室アトリエ BoKu.(朝)			← 手ぶら絵画教室 アトリエゴット			手ぶら絵画 教室アトリエ BoKu.(夜)			← 手ぶら絵画 教室アトリエ BoKu.(朝)			手ぶら絵画 教室アトリエ BoKu.(朝)																																			
貸	ギャラリー Little House	年始休廊															新春はじめ展												如月テルマ 「喫茶室の 世界」																										
企	ギャラリー 鉄齋堂	冬期休廊			常設展 (近代の軸装・額装) (6・9・18・19・28・29日は休廊)																																																		
貸	ギャラリー 富小路	冬期休廊																																																					
企	ギャラリー なかむら																																																						
貸	ギャラリー 中井	休廊																																																					
企	ギャラリー 白梅園	白崎信子 ガラス作品展																																																					
貸	ギャラリー ヒルゲート	年始休廊															第27回 折々の作家たち展 (1/21(月)休廊) 安野光雅・野見山暁治・丸木位里・俊・水上勉ほか 物故作を含む100余人の平面・立体の小品												片山龍一 油彩展			鳥内梨佐展																							
企	ギャラリー 美楽堂	年始休廊			日本画常設展																																																		

【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
		曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
貸	企	ギャラリーマロニエ	3F	冬期休廊													大川理可 (陶)			Gen展 (平面・立体)			野村友見 戸田伸英			→2/3									
		河原町四条上ル東側 221-0117	4F																	中村孝平 (平面)			中村孝平 (平面)			→2/3									
			5F														京都造形大連級制作展 (彫刻)																		
貸		ギャラリーみすや															翔の会 (日本画)																		
中京区三条河原町西入 211-5997		ギャラリー唯	休廊	喜雨…手紡ぎのニットセーターなど クリ・ボテラ…タイト kagari…ハグレウールで作る飾り襟・バックなど (月曜休廊)																			休廊												
左京区岡崎神宮道東側 752-0348		ギャラリー洛中洛外		陶芸作品常設展																															
山科区清水焼団地内 595-5450		ギャラリー龍馬	休廊	龍馬と酢屋 常設展 (水曜休廊)																															
河原町三条下ル東入 211-7700		ギャラリー正観堂		休廊						常設展 (水曜・日曜休廊：1~3月の間)																									
東山区切通新門前上ル 533-4110		ギャラリー宮筋		不定休要問合せ (小牧源太郎など常設展示)																															
中京区寺町二条上ル 231-2321		ギャラリー百音 (もね)		アンティークマイセン カップ&ソーサー or 絵画・工芸品在庫処分 (7日・15日・21日・28日休廊)																															
左京区岡崎神宮道東側 708-2138		ギャラリーヤマシタ	1号館 1F														研義治 遺作展																		
中京区寺町三条上ル 231-6505			2号館 1F														靴いたがき																		
現代美術 艸居		東山区門前大和大道東入 746-4456		鯨虎 じょう・安田萌音 二人展 (陶芸と絵画) (いまご) (日・月休廊)																						→2/2									
京都ギャラリー		中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435		貸ギャラリー受付中																															
京都芸大ギャラリーアーク		中京区御池通堀川東入 253-1509		状況のアーキテクチャー展 (祝日以外の月曜と1/15休館)																						→2/11									
京都芸術センター		中京区室町蛸薬師下ル 213-1000		藝文京展 EX ~つなぐ~																						→2/11									
京都市学校歴史博物館		下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305		京都の学校史をたどる - 中学校・高等学校編 - (水曜休館) (旧制中学校・高等女学校・実業学校・新制中学校・新制高等学校)																						→3/24									
貸	企	京都写真美術館	1F	冬期休館						山下茂樹 写真展《平成富士山 SELECTION》																常設展									
			2F	KYOTO FOTO SHOP展																															
東山区神宮道三条上ル 746-2931		京都陶磁器会館	1F	年始休業	楽焼窯元 和楽展 ~新春を寿ぐ~ (木曜休館)						京焼の未来展 (木曜休館)																								
東山区東大路五条上ル 541-1102			2F	古代がつくられるとき Anthropological Art Project, feat. 多田恵子						赤澤嘉則 陶展 ~空の思考~ (木曜休館)																									
京都万華鏡ミュージアムアートスペース		中京区姉小路東洞院東入 254-7902		京都やましな学園 生活介護事業 利用者絵画展						ゆう美術研究所 作品展																									
堺町画廊		中京区堺町御池下ル 213-3636		冬期休廊																															
里見有清堂		中京区堺町三条上ル 221-5423		貸画廊受付中																															
蔵丘洞画廊		中京区御池寺町東入 255-2232		冬期休廊						常設展						孤高の89才 上田泰江展 (会期中無休)													休廊			常設展			
大雅堂		東大路通祇園上ル 541-7388																																	
梅軒画廊		中京区烏丸四條上ル 221-3510		冬期休廊						日本画・洋画常設展 (日祝休廊)																									
ボルタギャラリー華		下京区京都駅前地下街 365-7533		猫月村 はるとさりい展						SUIT × 及川美沙 二人展						新鋭日本画三人展 - 火星のはかりかた - 石田翔太/谷内春子/三橋卓																			→2/3
星野画廊		東山区神宮道三条上ル 771-3670		年始休廊						明治・大正・昭和 名作品展 (日・月休廊)																									
松本松栄堂		中京区寺町夷川上ル 212-0626		新・古書画常設展示																															
村田画廊		左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960		村田茂樹展 (会期中無休) -アトリエに残されたもの-						常設展 (火・日・祝日休廊)																									
ヤマモトギャラリー		中京区姉小路寺町東入 231-2341		貸ギャラリー受付中																															

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895)
 [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。
<http://www.kyoto-art.net/>

【短信】「対談」京都市美術館×ロームシアター京都「京都の近代-岡崎、文化発信！」

1月18日(金) 15:00~16:30 京都芸術センター大広間 対談者：潮江宏三 (京都市美術館長) ×平竹耕三 (ロームシアター京都館長)